

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)						H30年の取組状況	R1年の取組状況	R2年以降の取組内容	
					H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3				
迅速かつ確実な避難行動のための取組	■危機管理型ハード対策	① 国管理区間 ・堤防天端の保護 (岩富地区、本郷地区、美幌川左・右岸地区) ・堤防法尻の補強 (美幌川左・右岸地区)	R2年度までに実施	網走開建	■	■	■	■	■	■	■	【天端保護】 美幌川右岸	【天端保護】 R1:美幌川右岸	【天端保護】 R1以降:岩富地区、美幌川右岸
		②北海道管理区間 ・堤防天端の保護箇所 の検討と実施	H29年度から実施	振興局	■	■	■	■	■	■	■	・堤防天端の保護箇所の検討	・堤防天端の保護箇所について引き続き検討	・今後、必要に応じて見直しを行っていく
	■避難情報等伝達機器の整備	① 要配慮者や観光客、集落分散地区の居住者にも確実に情報を伝えるため防災行政無線などの情報伝達機器の整備検討	H28年度から実施	網走市	■	■	■	■	■	■	■	・Jアラート新型受信機整備 ・コミュニティFMを活用した情報連携の調査、整備検討(情報伝達手段の多重化)	・コミュニティFMを活用した緊急情報伝達システムの構築 ・高齢者世帯等への「緊急告知防災ラジオ」貸与による緊急情報の伝達	・高齢者世帯等への「緊急告知防災ラジオ」貸与による緊急情報の伝達
				大空町	■	■	■	■	■	■	■	・Jアラート新型受信機整備(平成30年度) ・情報伝達手段の多重化として「メール配信」、「消防屋外スピーカー」による運用 メール配信は平成26年度から 消防デジタル無線(屋外拡声器)は平成25年度から	・防災無線(現状アナログ移動系)更新・改良等検討を継続 ・情報伝達手段の多重化として「メール配信」、「消防屋外スピーカー」による運用	・防災無線更新の検討 ・情報伝達手段の多重化として「メール配信」、「消防屋外スピーカー」による運用
				美幌町	■	■	■	■	■	■	■	・防災無線更新整備検討 ・新規転入者への防災グッズ配布	・防災無線更新に向けた設計を実施 ・転入者への防災グッズ配布	・防災無線更新整備予定 ・転入者への防災グッズ配布
				津別町	■	■	■	■	■	■	■	・防災無線の改良のための調査	・防災無線の改良(デジタル化)のための調査・検討	・IP無線機による情報伝達手段の構築
		②停電時や夜間において確実に避難情報を伝えるための情報伝達方法の検討	H29年度から実施	網走市	■	■	■	■	■	■	■	・コミュニティFMを活用した「自動起動防災ラジオ」による情報伝達を検討	・コミュニティFMを活用した緊急情報伝達システムの構築 ・高齢者世帯等への「緊急告知防災ラジオ」貸与による緊急情報の伝達	・高齢者世帯等への「緊急告知防災ラジオ」貸与による緊急情報の伝達
				大空町	■	■	■	■	■	■	■	・停電時や夜間において避難情報を伝えるための具体的な方法はメール配信のみのため、多様な情報伝達を検討	・引き続き、停電時や夜間における避難情報を伝えるための検討 ・業務継続のための取組みとして、役場庁舎の非常用電源確保(業務継続のための電気系統・非常用発電機整備をR1年実施)	・引き続き、停電時や夜間における避難情報を伝えるための検討

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)						H30年の取組状況	R1年の取組状況	R2年以降の取組内容	
					H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3				
迅速かつ確実な避難行動のための取組	ハード対策 ■避難情報等伝達機器の整備	②停電時や夜間において確実に避難情報を伝えるための情報伝達方法の検討	H29年度から実施	美幌町							・引き続き、停電時や夜間における避難情報を伝えるための検討 ・非常用電源の充実を図る必要性など、引き続き、情報伝達方法について調査研究を進めた	・停電時や夜間における避難情報を伝えるための検討 ・非常用電源の整備を図るとともに、情報伝達方法について調査研究を進めた	・引き続き、停電時や夜間における避難情報を伝えるための検討 ・引き続き、情報伝達方法について調査研究を進める	
				津別町							・停電時や夜間における避難情報を伝えるための方法を検討	・停電時や夜間における避難情報を伝えるための方法を検討 ・非常用電源の充実)	・停電時や夜間における避難情報を伝えるための方法を検討 ・非常用電源の充実)	
迅速かつ確実な避難行動のための取組	ソフト対策 ■洪水に対してリスクの高い箇所と、避難場所・避難経路の把握	① 想定最大規模の降雨による浸水想定区域、家屋倒壊等氾濫想定区域、破堤点別洪水浸水想定区域図(浸水ナビ)の公表	H28年度	網走開建							-	-	-	
			H29年度から実施	振興局							・その他の支川も簡易的な手法による調査が必要か検討	-	-	
		② 想定最大規模の降雨による浸水想定区域に基づき、浸水深や長期浸水時間を考慮した避難場所や避難経路の見直し、ハザードマップの作成、まるごとまちごとハザードマップの整備検討	H28年度から実施	網走開建								・関係市町について支援を実施	・支援の要請はなかった	・必要に応じ、関係市町について支援等を実施していく
			H29年度から実施	气象台								・ハザードマップ等の作成の支援要請がなかった	・ハザードマップ等の作成の支援要請がなかった	・必要に応じて支援など行う
				振興局								・浸水想定区域図のデータを提供 ・支援の要請はなかった	・支援の要請はなかった	・必要に応じ、支援を実施していく(補助事業の紹介等)
			H28年度から実施	網走市								・既存防災ガイドブックの転入者等への追加配布	・部分改訂版防災ガイドブックの転入者等への追加配布及びホームページ掲載	・防災ガイドブックの全面改訂・全戸配布(R3まで)
				大空町								・「せいかつあんしんガイドブック」全戸配布(毎年度実施) ・「大空町防災マップ」作成、全戸配布(H30年3月末) ・大空町防災マップ(地図・手引)は想定最大規模及び計画規模の洪水浸水想定区域を表示している	・「せいかつあんしんガイドブック」全戸配布(毎年度実施) ・「大空町防災マップ」転入世帯へ配付	・「せいかつあんしんガイドブック」毎年作成全戸配布 ・防災マップは5年程度で見直し(2023年頃)
美幌町								・転入者に防災ガイドブックの配布 ・防災WEBマップの作成	・転入者に防災ガイドブックの配布 ・防災WEBマップの見直し	・道管理河川における浸水想定区域公表による、水害ハザードマップの見直し検討 ・防災WEBマップの見直し				

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)						H30年の取組状況	R1年の取組状況	R2年以降の取組内容	
					H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3				
迅速かつ確実な避難行動のための取組	■洪水に対してリスクの高い箇所と、避難場所・避難経路の把握 ソフト対策	② 想定最大規模の降雨による浸水想定区域に基づき、浸水深や長期浸水時間を考慮した避難場所や避難経路の見直し、ハザードマップの作成、まるごとまちごとハザードマップの整備検討	H28年度から実施	津別町								<ul style="list-style-type: none"> 洪水浸水想定区域に基づく水害ハザードマップの作成 民家に接する国直轄、北海道管理、津別町管理の河川に係るハザードマップを作成。 ハザードマップ町内全戸配布 	<ul style="list-style-type: none"> ハザードマップ説明等自治会への出前講座 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きハザードマップ説明等自治会への出前講座を実施する
		③ 土地勘のない観光施設利用者が確実に避難場所までたどり着けるための避難誘導手法の検討	H29年度から実施	網走市								<ul style="list-style-type: none"> 住民や観光客がスマートフォン等を利用し避難情報の取得等ができるよう、道の駅駐車場等にWi-Fi環境を整備 	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅駐車場等に設置したWi-Fi環境の利用と併せて観光庁防災アプリ(外国語対応)の活用促進を図るため入手方法を施設へ情報掲載 	<ul style="list-style-type: none"> 避難対象地区及びその付近の観光施設、宿泊施設等へのハザードマップ配布、避難誘導体制構築に向けた観光関係団体等との連携模索
			大空町								<ul style="list-style-type: none"> 避難誘導手法の検討を行った(H30年度「大空町防災マップ」作成。マップを活用し継続して検討) 	<ul style="list-style-type: none"> 避難誘導手法の検討を行う(ハザードマップ見直し後継続して検討を行う) 	<ul style="list-style-type: none"> 避難誘導手法の検討を行う(ハザードマップ見直し後継続して検討を行う) 	
		④ 円滑な避難行動のため、道路管理者との連絡体制網の構築	H28年度から実施	網走開建								<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と協力し、防災ハンドブックを更新 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と協力し、防災ハンドブックを更新 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて、関係機関と協力し、防災ハンドブックを更新
				振興局								<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携し、見直しを行った 	<ul style="list-style-type: none"> 共有を図り、見直しについて検討した 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携し、必要に応じ見直しを行っていく
		H29年度から実施	自衛隊									<ul style="list-style-type: none"> 共有を図った 	<ul style="list-style-type: none"> 共有を図ることができた 	<ul style="list-style-type: none"> 共有を図る
			北海道警察									<ul style="list-style-type: none"> 共有を図った 	<ul style="list-style-type: none"> 情報等の共有を図った 	<ul style="list-style-type: none"> 情報等の共有を図る
		R1年度から実施	網走警察署									—	<ul style="list-style-type: none"> 情報等の共有を図った 	<ul style="list-style-type: none"> 情報等の共有を図る
			美幌警察署									—	<ul style="list-style-type: none"> 情報等の共有を図った 	<ul style="list-style-type: none"> 情報等の共有を図る

網走川ほか 減災に関する取組方針 フォローアップ

資料3

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)						H30年の取組状況	R1年の取組状況	R2年以降の取組内容	
					H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3				
迅速かつ確実な避難行動のための取組	■洪水に対してリスクの高い箇所と、避難場所・避難経路の把握	④ 円滑な避難行動のため、道路管理者との連絡体制網の構築	H28年度から実施	網走市	■	■	■	■	■	■	■	・網走開発建設部が行う資料整理に協力、情報共有を図った	・網走開発建設部が行う資料整理に協力、情報共有を図った。	・網走開発建設部が行う資料の見直しに協力していく
				大空町	■	■	■	■	■	■	■	・資料整理への協力を行った ・情報共有を図るため、減災対策協議会作成の防災ハンドブックを活用した	・資料整理への協力と共有を図った ・減災対策協議会作成の防災ハンドブックを活用した	・資料整理への協力と共有を図る ・減災対策協議会作成の防災ハンドブックを活用する
				美幌町	■	■	■	■	■	■	■	・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図った	・引き続き、資料整理への協力と共有を図る
				津別町	■	■	■	■	■	■	■	・ハザードマップに網羅・明示により、情報の共有化を図った	・共有を図った	・引き続き共有を図る
				網走消防組合	■	■	■	■	■	■	■	・引き続き継続実施した	・資料整理への協力と共有を図った	・引き続き、資料整理への協力と共有を図る
				美幌津別広域組合	■	■	■	■	■	■	■	・引き続き美幌町配布の「防災ガイドブック」等を活用し、情報共有を図った	・共有を図った	・引き続き共有を図る
				網走開建	■	■	■	■	■	■	■	・H30年5月にプッシュ型情報配信を実施(4水系10市町村に拡大)	・プッシュ型配信による情報について、住民がより理解しやすい内容となるように緊急速報メール配信文を更新 ・HPや出前講座等で広報活動を行った	・HPや出前講座等で広報活動を行う
迅速かつ確実な避難行動のための取組	■避難情報、警報等をわかりやすく、適切なタイミングで確実に伝達するための取組	① 住民や観光客の避難行動を促すため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報提供や洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	H30年度までに実施	網走開建	■	■	■	■	■	■	・H30年5月にプッシュ型情報配信を実施(4水系10市町村に拡大)	・プッシュ型配信による情報について、住民がより理解しやすい内容となるように緊急速報メール配信文を更新 ・HPや出前講座等で広報活動を行った	・HPや出前講座等で広報活動を行う	
		② メール・テレビ・ラジオ・サイレン等、多様な手段を用いた避難情報発信体制の強化及び近隣住民同士での連絡体制等の人的ネットワーク(自主防災組織等)の構築	引き続き実施	網走市	■	■	■	■	■	■	■	・自主防災組織の結成促進 ・メール配信サービスの利用促進 ・地域防災訓練や防災研修会等の実施による避難所運営体制の構築 ・コミュニティFMを活用した情報連携の調査、整備検討(情報伝達手段の多重化)	・コミュニティFMを活用した緊急情報伝達システムの構築 ・高齢者世帯等への「緊急告知防災ラジオ」貸与による緊急情報の伝達 ・自主防災組織の結成促進(結成に向けた研修会での講話) ・メール配信サービスの利用促進 ・地域防災訓練や防災研修会等の実施による避難所運営体制の構築	・コミュニティFMを活用した緊急情報伝達システムの運用 ・高齢者世帯等への「緊急告知防災ラジオ」貸与による緊急情報の伝達 ・自主防災組織の結成促進 ・メール配信サービスの利用促進 ・地域防災訓練や防災研修会等の実施による避難所運営体制の構築

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)						H30年の取組状況	R1年の取組状況	R2年以降の取組内容	
					H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3				
迅速かつ確実な避難行動のための取組	■避難情報、警報等をわかりやすく、適切なタイミングで確実に伝達するための取組 ソフト対策	② メール・テレビ・ラジオ・サイレン等、多様な手段を用いた避難情報発信体制の強化及び近隣住民同士での連絡体制等の人的ネットワーク(自主防災組織等)の構築	引き続き実施	大空町								・引き続き自主防災組織の結成促進やメール配信サービスの利用促進(登録制)を図った ・「大空町防災マップ」全戸配布(H30年3月末) ・大空町防災マップ(地図・手引)は想定最大規模及び計画規模の洪水浸水想定区域を表示した ・防災リーダー育成を支援のための方策検討(自主防災組織活動補助金交付要綱の見直し検討など)	・引き続き自主防災組織の結成促進やメール配信サービス(登録制)の利用促進を図った ・北海道地域防災マスター認定研修会を大空町で開催(北海道主催、令和元年12月13日、21名受講)	・引き続き自主防災組織の結成促進やメール配信サービス(登録制)の利用促進を図る ・防災リーダー育成を支援のための方策検討(自主防災組織活動補助金交付要綱の見直し検討など)
				美幌町								・自主防災組織の結成促進 ・防災リーダー、防災マスター、防災士の養成研修会の開催 ・転入者に防災ガイドブックの配布 ・メール配信サービスを始め、ホームページ、Facebookにより情報配信	・自主防災組織の結成促進 ・防災リーダー、防災マスター、防災士の養成 ・転入者に防災ガイドブックの配布 ・メール配信サービスの利用促進とともに、ホームページ、Facebookにより情報配信	・引き続き自主防災組織の結成促進 ・防災リーダー、防災マスター、防災士の養成 ・転入者に防災ガイドブックの配布 ・メール配信サービスの利用促進とともに、ホームページ、Facebook、LINEにより情報配信
				津別町								・引き続き自主防災組織の結成促進を図った ・自主防災組織運営マニュアルの見直し	・引き続き自主防災組織の結成促進を図った	・引き続き自主防災組織の結成促進を図る
		③ わかりやすく、切迫感の伝わりやすい情報となるよう、洪水予報文の改良、気象情報発信時の「危険度色分け」「警報級の現象」やメッシュ情報等の改善	H28年度	網走開建			完					-	・「避難勧告等に関するガイドライン」改定に伴い、より住民が理解しやすい情報となるよう洪水予報文を改良 ・災害の切迫感を分かりやすく伝えるため、上流から下流まで連続的に、洪水の危険度が分かる「水害リスクライン」による情報提供を開始	-
			H29年度までに実施	気象台				完				-	・「避難勧告等に関するガイドライン」改定に伴い、より住民が理解しやすい情報となるよう洪水予報文を改良 ・自主避難や各市町の適切な避難情報発令のため、リアルタイムでの大雨の「危険度分布」に洪水浸水想定区域等を重ね合わせた表示に更新	-
		④ 避難勧告等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法及び伝達内容についての市町職員向けマニュアルの作成や想定最大規模の降雨による浸水想定区域に基づく地域防災計画の見直し	H28年度から実施	網走市								・避難所運営マニュアルの策定	・コミュニティFMとの連携による緊急割込放送に係る運用基準・マニュアル等の作成	・避難勧告等の判断・伝達マニュアルや地域防災計画の見直し
				大空町								・地域防災計画の見直し(H29年9月改訂)	・職員マニュアルの見直し検討 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアル等の作成検討 ・地域防災計画の見直し検討	・職員マニュアルの見直し(継続) ・避難勧告等の判断・伝達マニュアル(水害編)等の作成検討 ・地域防災計画の見直し検討
				美幌町								・地域防災計画の見直し ・災害時初動対応カードを新規採用職員に配布	・地域防災計画の見直し ・災害時初動対応カードを新規採用職員に配布	・避難所運営マニュアルの見直し ・地域防災計画の見直し予定 ・災害時初動対応カードを新規採用職員に配布
				津別町								・地域防災計画及び水防計画を見直し、計画に基づくマニュアルを作成	・地域防災計画及び水防計画の更新を検討	・地域防災計画及び水防計画の適宜更新 ・役場職員向けマニュアルの作成

網走川ほか 減災に関する取組方針 フォローアップ

資料3

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)						H30年の取組状況	R1年の取組状況	R2年以降の取組内容		
					H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3					
迅速かつ確実な避難行動のための取組	ソフト対策	⑤ 訓練や実運用結果を通じ、避難勧告等の発令に着目したタイムラインを改良や多機関連携したタイムラインの作成(要配慮者や観光客、災害状況に応じた対応を考慮)	H29年度から実施	網走開建	■	■	■	■	■	■	■	・各市町がタイムラインを作成する際の参考となるように、他河川で実施しているタイムライン検討会の傍聴を幅広く案内した	・各市町がタイムラインを作成する際の参考となるように、常呂川タイムライン試行版の情報提供を行った	・活用可能な構成市町の訓練に参加し、必要に応じ、タイムライン見直しを行っていく	
				気象台	■	■	■	■	■	■	■	・意見交換会に参加 ・他河川タイムライン検討会に参画	・他河川タイムライン検討会に参画 ・振興局作成のタイムライン見直しに協力	・構成市町と訓練を実施し、必要に応じ、タイムライン見直しを行っていく	
				振興局	■	■	■	■	■	■	■	・水位周知河川について、構成する町と協議し、避難勧告着目型タイムラインを作成 ・他河川タイムライン検討会に参加	・避難勧告等に関するガイドラインの変更を踏まえ、改良版の避難勧告着目型タイムラインを作成した	・今後の洪水状況等において地域の課題を検証するとともに必要に応じてタイムラインの見直しを行っていく	
				自衛隊	■	■	■	■	■	■	■	・意見交換会に参加 ・他河川タイムライン検討会に参加	・意見交換会に参加し、タイムライン試行案策定に寄与	・構成する町と訓練を実施し、必要に応じ、タイムラインの見直しを行っていく	
				北海道警察	■	■	■	■	■	■	■	・意見交換会に参加 ・他河川タイムライン検討会に参加	・意見交換会に参加 ・他河川タイムライン検討会に参加	・意見交換会に参加する ・関係機関の訓練を通じ、必要に応じてタイムラインの見直しを行っていく	
				網走警察署	■	■	■	■	■	■	■		・意見交換会に参加	・意見交換会に参加する ・構成市町と訓練を実施し、必要に応じ、タイムラインの見直しを行っていく	
			R1年度から実施	美幌警察署	■	■	■	■	■	■	■		・意見交換会や検討会に参加	・意見交換会や検討会に参加する ・関係機関との訓練を通じ、必要に応じてタイムラインの見直しを行っていく	
				H29年度から実施	網走市	■	■	■	■	■	■	■	・意見交換会に参加 ・他河川タイムライン検討会を参考のため傍聴	・意見交換会に参加 ・他河川タイムライン検討会を参考のため傍聴	・意見交換会に参加 ・構成市町と訓練を実施し、必要に応じ、タイムライン見直しを行っていく
					大空町	■	■	■	■	■	■	■	・意見交換会に参加 ・他河川タイムライン検討会を参考のため傍聴	・情報収集に努めた 前段小項目④のうち職員マニュアル見直しのなかで検討	・意見交換会に参加する ・構成市町と訓練を実施し、必要に応じ、タイムライン見直しを行っていく
					美幌町	■	■	■	■	■	■	■	・意見交換会に参加	・意見交換会に参加	・意見交換会に参加する ・構成市町と訓練を実施し、必要に応じ、タイムライン見直しを行っていく
					津別町	■	■	■	■	■	■	■	・意見交換会に参加	・意見交換会に参加	・意見交換会に参加する ・構成市町と訓練を実施し、必要に応じ、タイムライン見直しを行っていく

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)						H30年の取組状況	R1年の取組状況	R2年以降の取組内容		
					H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3					
迅速かつ確実な水防活動のための取組	■洪水氾濫を未然に防ぐ対策	① 国管理区間 ・河道掘削 (本郷地区、美幌右岸地区) ・浸透対策 (美幌左岸地区)	R2年度までに実施	網走開建	■	■	■	■	■	■	■	【河道掘削】 本郷地区	【河道掘削】 本郷地区	【河道掘削】 本郷地区、美幌地区	
		② 北海道管理区間 ・河道掘削 (網走川上流、駒生川、サラカオーマキキン川) ・浸透対策 (女満別川) ・適切な河道の維持管理(河道掘削、伐木等)	H28年度から実施	振興局	■	■	■	■	■	■	■	■	・改修中の河川について掘削や堤防整備等を実施 【堤防質的整備】 女満別川 【河道掘削】 網走川上流、駒生川、サラカオーマキキン川 ・伐木等による河道の適切な維持管理を実施	・次の河川について掘削や堤防整備等を実施 【堤防質的整備】 女満別川 【河道掘削】 女満別川、駒生川、サラカオーマキキン川、越歳川 ・伐木等による河道の適切な維持管理を実施 (車止内川ほか)	・引き続き改修中の河川について掘削や堤防整備等を実施 【堤防質的整備】 女満別川 【河道掘削】 網走川上流、駒生川、サラカオーマキキン川、越歳川 ・伐木等による河道の適切な維持管理を実施
	■監視体制の強化	① 網走川のほか中小河川など、上流部の河岸侵食危険箇所や湖周辺の観光地等、水害リスクの高い箇所の状況が把握できるよう、CCTVカメラや簡易水位計等機器の調査検討・整備を行う	H28年度から実施	網走開建	■	■	■	■	■	■	■	■	・水害リスクの高い箇所に危機管理型水位計を設置	・水害リスクの高い箇所に監視カメラを設置	・必要に応じて、水害リスクの高い箇所に危機管理型水位計及び監視カメラを設置
			H29年度から実施	振興局	■	■	■	■	■	■	■	■	・水害リスクの高い箇所に、危機管理型水位計を設置	・水害リスクの高い箇所に、危機管理型水位計を設置【10箇所】 (女満別川ほか) ・水害リスクの高い箇所に、計画的に監視カメラを設置【7箇所】 (網走川ほか)	-
	■水防活動の資機材整備	① 資機材運搬時間の短縮を図るため、水防資機材の備蓄基地等の配置検討や、資機材量及び新技術を活用した資機材導入の検討・配備	H28年度から実施	網走開建	■	■	■	■	■	■	■	■	・大空地区河川ステーションの事業着手	・大空地区河川防災ステーション上屋の実施設計	・大空地区河川ステーションの事業継続
			H29年度から実施	振興局	■	■	■	■	■	■	■	■	・防災資材の備蓄を実施	・防災資材の備蓄を計画	・引き続き、計画的に整備予定
			H28年度から実施	自衛隊	■	■	■	■	■	■	■	■	・防災装備品を上級部隊に要望	・災害救助用の資機材の整備等を実施	・引き続き、計画的に整備予定

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)						H30年の取組状況	R1年の取組状況	R2年以降の取組内容			
					H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3						
迅速かつ確実な水防活動のための取組	ソフト対策 ■水防活動に必要な情報の共有	② 想定最大規模の洪水時でも利用可能な水防資機材搬送ルートの設定	H29年度から実施	津別町	■	■	■	■	■	■	■	・想定最大規模や計画規模の洪水時における資機材搬入ルート等の設定協議に参加	・想定最大規模や計画規模の洪水時における資機材搬入ルート等の設定協議に参加	・想定最大規模や計画規模の洪水時における資機材搬入ルート等の設定協議に参加		
				網走消防組合	■	■	■	■	■	■	■	・設定協議に参加 ・情報の共有	・設定協議に参加 ・情報の共有	・必要に応じ設定協議に参加 ・情報の共有		
				美幌津別広域組合	■	■	■	■	■	■	■	・設定協議に参加 ・情報の共有を行うため、減災対策協議会作成の防災ハンドブックを活用した	・設定協議に参加 ・情報の共有	・必要に応じ設定協議に参加 ・情報の共有		
		③ 毎年、重要水防箇所の見直しを行い、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の見直しを実施する	引き続き実施	引き続き実施	網走開建	■	■	■	■	■	■	■	・関係機関と共同点検を実施 ・重要水防箇所の見直しを行った	・関係機関と一体となって共同点検を実施 ・重要水防箇所の見直しを行った	・関係機関のほか住民等を交えた共同点検を実施予定 ・引き続き、重要水防箇所の見直しを行う	
				H29年度から実施	振興局	■	■	■	■	■	■	■	■	・道管理河川の共同点検に向けて、実施方針について検討 ・重要水防区間の見直しを行った	・道管理河川の共同点検に向けて、実施方針について検討した ・重要水防区間の見直しを検討した ・国他河川の共同点検に参加した	・関係機関のほか住民等を交えた共同点検に参加 ・道管理河川の共同点検を実施予定 ・重要水防区間の見直しを行う
					自衛隊	■	■	■	■	■	■	■	■	・共有を図った	・水防会議及び資料により情報共有を図ることができた。	・引き続き、共有を図る
					引き続き実施	網走市	■	■	■	■	■	■	■	■	・関係機関と共同点検を実施	・関係機関と共同点検を実施
				大空町		■	■	■	■	■	■	■	■	・関係機関と共同点検を実施	・関係機関と共同点検を実施	・関係機関と共同点検を実施
				美幌町		■	■	■	■	■	■	■	■	・関係機関と共同点検を実施	・関係機関と共同点検を実施	・関係機関と共同点検を実施
				津別町		■	■	■	■	■	■	■	■	・関係機関と共同点検を実施	・関係機関と共同点検を実施した	・今後も関係機関等と共同点検を実施予定
		網走消防組合	■	■	■	■	■	■	■	■	・関係機関と共同点検を実施	・関係機関と共同点検を実施した	・今後も関係機関等と共同点検を実施予定			

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)						H30年の取組状況	R1年の取組状況	R2年以降の取組内容			
					H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3						
迅速かつ確実な水防活動のための取組	ソフト対策	■水防活動に必要な情報の共有	③ 毎年、重要水防箇所の見直しを行い、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施する	引き続き実施	美幌津別広域組合	■	■	■	■	■	■	・関係機関と共同点検を実施	・関係機関等と共同点検を実施	・今後も関係機関等と共同点検を実施予定		
		■水防活動体制の強化	① 関係機関が連携し、河岸侵食や漏水を想定した水防実働訓練、情報伝達訓練の実施	引き続き実施	網走開建	■	■	■	■	■	■	■	・関係機関主催の訓練等に参加	・関係機関主催の訓練等に参加	・引き続き関係機関主催の訓練等に参加	
					气象台	■	■	■	■	■	■	■	・水防実働訓練に参加する機会がなかった	・水防実働訓練に参加する機会がなかった	・引き続き関係機関主催の訓練等に参加	
					振興局	■	■	■	■	■	■	■	・関係機関主催の訓練等に参加	・関係機関主催の訓練等の参加の要請はなかった	・引き続き関係機関主催の訓練等に参加予定	
				R1年度から実施	自衛隊	■	■	■	■	■	■	■	■	・関係機関主催の訓練等に参加	・関係機関主催の訓練等に参加し、人命救助の要領の情報共有を図ることができた。	・引き続き、関係機関主催の訓練等に参加
					北海道警察	■	■	■	■	■	■	■	■	・引き続き関係機関主催の訓練等に参加	・関係機関主催の訓練等に参加	・引き続き関係機関主催の訓練等に参加する
					網走警察署	■	■	■	■	■	■	■	■	—	・関係機関主催の訓練等に参加	・引き続き関係機関主催の訓練等に参加する
				引き続き実施	美幌警察署	■	■	■	■	■	■	■	■	—	・関係機関の訓練等に参加	・引き続き関係機関の訓練等に参加する
					網走市	■	■	■	■	■	■	■	■	・近隣町や関係機関との連携による水防訓練の実施について、調整を行った	・近隣町や関係機関との連携による水防訓練の実施について、調整を行った。	・近隣町や関係機関との連携による水防訓練の実施について、調整を行う ・関係機関主催の訓練等に参加
					大空町	■	■	■	■	■	■	■	■	・大空町防災訓練を今後も引き続き実施	・大空町防災訓練を実施 ・住民参加による水災害に関する防災訓練の検討(避難訓練や図上訓練等)	・大空町防災訓練を今後も引き続き実施 ・住民参加による水災害に関する防災訓練の検討(避難訓練や図上訓練等)

網走川ほか 減災に関する取組方針 フォローアップ

資料3

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)						H30年の取組状況	R1年の取組状況	R2年以降の取組内容	
					H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3				
迅速かつ確実な水防活動のための取組	ソフト対策 ■水防活動体制の強化	② リーフレットやHPを通じ、水防活動の担い手となる水防団員(消防団員)の募集を行うとともに、水防協力団体の募集・指定を促進する	H28年度から実施	美幌津別広域組合	■	■	■	■	■	■	■	・引き続き募集活動を実施 ・組合HP掲載、構成町の広報誌掲載、ポスター掲示、リーフレットを配布し加入促進を図った	・引き続き募集活動を実施	・引き続き募集活動を実施
効率的・効果的な排水活動のための取組	ハード対策 ■排水活動の資機材整備	① 排水ポンプ車等、排水活動に必要な資機材の整備検討	H28年度から実施	網走開建	■	■	■	■	■	■	■	・関係機関と協力し、防災ハンドブックを更新	・関係機関と協力し、防災ハンドブックを更新	・必要に応じて、関係機関と協力し、防災ハンドブックを更新
				自衛隊	■	■	■	■	■	■	■	・共有を図った	・情報共有を実施	・引き続き、情報共有を実施
				網走市	■	■	■	■	■	■	■	・内水被害常襲地区への排水ポンプ及び電源の整備検討	・内水被害常襲地区への排水ポンプ及び電源の整備検討	・網走開発建設部が行う見直しに協力していく ・内水被害常襲地区への排水ポンプ及び電源の整備検討、必要に応じて整備を図る
				大空町	■	■	■	■	■	■	■	・共有を図った ・減災対策協議会作成の防災ハンドブックを活用して情報等の共有を図った	・共有を図った ・減災対策協議会作成の防災ハンドブックを活用して情報等の共有を図った	・共有を図る ・減災対策協議会作成の防災ハンドブックを活用して情報等の共有を図る
				美幌町	■	■	■	■	■	■	■	・各樋門に計8台の発電機を設置 ・ポンプ6台購入 ・旧瑞治樋門に電源の常設設置	・水中ポンプ1台を購入	・必要に応じて整備を図る
				津別町	■	■	■	■	■	■	■	・資機材整備の検討を行った	・資機材整備の検討を行った	・必要に応じて整備を図る
				網走消防組合	■	■	■	■	■	■	■	・資機材整備の検討を行った	・資機材等の整備等を行い、防災ハンドブックを活用して情報等の共有を図った	・今後、必要に応じて見直しを行う
				美幌津別広域組合	■	■	■	■	■	■	■	・資機材の整備なし	・資機材の整備なし	・必要に応じて整備を図る

網走川ほか 減災に関する取組方針 フォローアップ

資料3

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)						H30年の取組状況	R1年の取組状況	R2年以降の取組内容		
					H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3					
効率的・効果的な排水活動のための取組	ソフト対策 ■排水活動の体制強化	② 排水ポンプ車等を使用した、関係機関共同での排水訓練の実施	H29年度から実施	網走市								・ポンプ排水訓練に参加	・ポンプ排水訓練に参加	・ポンプ排水訓練に参加	
				大空町								・ポンプ排水訓練に参加	・ポンプ排水訓練に参加	・ポンプ排水訓練に参加	
				美幌町								・ポンプ排水訓練に参加	・ポンプ排水訓練に参加できなかった	・ポンプ排水訓練に参加	
				津別町								・ポンプ排水訓練に参加	・ポンプ排水訓練に参加	・ポンプ排水訓練に参加	
			引き続き実施	網走消防組合									所有資機材の点検、取扱い訓練を実施するとともに、関係機関主催訓練に参加した	所有資機材(可搬ポンプ)の点検、取扱い訓練を実施した	所有資機材の点検、取扱い訓練を実施するとともに、関係機関主催訓練に参加する
				美幌津別広域組合									・所有資機材の点検、取扱い訓練を実施	・所有資機材の点検、取扱い訓練を実施	・所有資機材の点検、取扱い訓練を実施するとともに、関係機関主催訓練に参加する